

2016年8月31日

スバル レヴォーグが欧州の2016年安全性能総合評価で 最高評価「ファイブスター」を獲得

- アイサイトを採用し、2016年から追加された対歩行者自動緊急ブレーキ性能試験においても高評価を獲得

このたび、スバル レヴォーグ(欧州仕様車)が、欧州の新車評価基準である「ユーロNCAP^{*1}」における、2016年安全性能総合評価で最高評価の「ファイブスター」を獲得しました。2016年評価では、歩行者への衝突回避または衝突被害軽減性能を評価する自動緊急ブレーキ試験が追加され、アイサイト^{*2}を標準装備したレヴォーグは高評価を獲得しました。同試験を含めた2016ユーロNCAPでは、「乗員(大人)保護性能」、「乗員(幼児)保護性能」、「歩行者保護性能」、「安全補助性能」の4分野において安全性能が試されます。ユーロNCAPでの最高評価の獲得は2009年のレガシィ、2011年のSUBARU XV、2012年のフォレスター、2014年のアウトバックに続き、5回目になります。

アイサイトの予防安全性能については、アイサイトを搭載したスバル車が、米国でIIHS^{*3}(道路安全保険協会)の2016年安全評価の前面衝突予防性能試験において最高評価「Superior」を獲得するとともに、日本では国土交通省とNASVA^{*4}が実施する予防安全性能アセスメントにおいて最高評価であるJNCAP^{*5}「先進安全車プラス(ASV+^{*6})」に選定されるなど、第三者機関からの評価結果も優れた内容となっています。

アイサイトは、世界で初めてステレオカメラのみで、自動車、歩行者、二輪車までも対象としたプリクラッシュセーフティ機能や全車速追従クルーズコントロール機能を実現したシステムで、2008年5月の日本での発売以来、お客様からの高い評価をいただけてきました。日本、豪州、北米、欧州へと順次展開を拡大し、優れた予防安全性能をより多くのお客様へ提供しています。

富士重工業は、ブランドステートメントである“Confidence in Motion”を通じて、スバルならではの「安心と楽しさ」の提案を掲げています。この「安心と楽しさ」を支える重要な要素である「安全」を、ALL-AROUND SAFETYの考え方の基に、0次安全、アクティブセーフティ、プリクラッシュセーフティ、パッシブセーフティの各技術進化により実現していきます。

*1: 欧州各国の交通関連当局などで構成された独立機関が1997年より実施している安全性能評価

*2: 日本市場名称: アイサイト(ver.3)

*3: Insurance Institute for Highway Safety(米国保険業界の非営利団体)

*4: National Agency for Automotive Safety & Victims' Aid(独立行政法人 自動車事故対策機構)

*5: Japan New Car Assessment Program

*6: Advanced Safety Vehicle +



スバル レヴォーグ(欧州仕様)衝突試験時